

なるほど油防除資機材！！ ～その4 防除清掃作業後の清掃法～

油の防除清掃作業で汚れた手、長靴などは石けんでゴシゴシ洗っても油がなかなか落ちないものです。防除清掃作業時はビニール手袋、長靴、使い捨ての防除服等を着用します（海上や岸壁など危険な場所での作業時はヘルメット及び救命胴衣を身に着けます）。防除服は全身を覆う「つなぎ」が多く使われています。しかしながら手や長靴などには必ず油が付着します。



座礁事故現場の清掃作業の様子
(写真提供：

久慈町漁業協同組合、2002年12月)

汚れた手や長靴の清掃にはバケツ3つを用意します。1つ目のバケツには灯油（軽質油であれば良いのですが入手しやすく安価である灯油の使用をお勧めします。ガソリンは揮発性が高く危険なので避けます。）、2つ目には油処理剤（原液のまま）、3つ目は水道水を入れておきます。そして、この順番に汚れた手や長靴を洗います。仕上げにウェス等で拭けばピカピカです。同様にして汚れた柄杓や回収枠などの資機材も清掃することができます。



清掃作業後に底の汚れた長靴で周辺を歩き回れば油汚染が広がります。そのようなことがないように防除清掃作業後は作業に使った道具や自分自身もしっかりと清掃しましょう。